

小論文試験問題出題の意図

「個性」や「自分らしさ」といったものに価値が置かれるようになって久しい。他者とは異なる、自分を表現する方法として、音楽やファッション、言葉等が取り上げられる一方で、それらが流行という没個性を生み出すこともしばしばある。

本問題文は、「個性ということ」について論じたものである。自分自身が個性だと思っていることは実は地域や年代といった自らの所属する共同体に共通するものであり、そのフレームワークの中に閉じ込められているに過ぎないとしている。そしてそのフレームワークに気づく手立てとして異文化との接触が有効であり、フレームワークからいかに脱却するかを問うことが反省的に思考することだと述べている。

そこで本問題では、まず著者の意図を理解して問題文を要約する。さらに著者の意図することを踏まえて、自分の「個性」とどのように向き合い、大学生活を過ごそうとするのか、これからの4年間を見据えて思考・判断し、表現できるかを問う。